

石巻市NPO支援オフィス通信  
 月刊 **んぽん舗**  
 平成26年3月号 第127号 毎月10日発行

発行日 2014年 3月10日  
 発行 石巻市NPO支援オフィス  
 〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63  
 TEL/FAX 0225-23-3641  
 E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp  
 URL <http://ishinomakinposhienoffice.jimdo.com/>



□ オフィス開館時間:月～金曜日10:00～20:00 土曜日10:00～18:00 日曜・祝日休館 □

## お詫び

んぽん舗2月号(第126号)で、一部号数及び発行日等の抜けている紙面がありましたことをお詫び致します。申し訳ありませんでした。

### ☆オフィスの新しい登録団体さんを紹介します。よろしくお願ひします☆

#### 【登録No. 134】 こども∞感ぱにー

【活動内容】①黄金浜ちびっこあそび場の運営サポート ②放課後あそび場 “よっこより”  
 ③未就学児のあそび場 ④多世代交流の場と居場所づくり  
 ⑤あそびの出前 ⑥Ecoキャンプ “自然とともに”



#### ◆第30回コミュニティカフェ・うめばたけ

笑門には「健康」来る！トークライブ 『笑いと言と健康』

日時:3月18日(火) 10:00～12:00

定員:40名(ご予約お願ひします) 参加費:100円

会場:市民協・いしのまきハウス

申込み:NPO法人まちの寄り合い所うめばたけ 0225-23-9066



#### ◆「マインドフルネスによる被災地のメンタルヘルス」講演会

マインドフルネス心療療法はうつ病や不安障害を改善する最新の認知行動療法です。

日時:3月22日(土) 10:00～12:00 開場:石巻保険相談センター3階講義室 参加費:無料

申込:3月18日まで要予約(定員100名になり次第締め切り)

メール:saitama@co.email.jp 電話:048-769-2036

主催:NPO法人マインドフルネス総合研究所 <http://mindfulness.jp/>

#### ◆ドリプラ(巻っ子ドリプラin石巻)

ドリプラとはドリームプラン・プレゼンテーションのことで、小学生の皆さんに10分間で自分の夢を大いに語ってもらいます。

日時:3月29日(土) 午後1:00開演 場所:渡波小学校 入場料:1000円

問合せ:ドリプラ実行委員会 090-5593-8942(菊池) <http://dreamplan.xii.jp>



#### ◆東日本大震災犠牲者追悼特別演奏会—鎮魂から復興への祈り

日時:3月30日(日) 13:30開場、14:00開演

入場料:一般1000円、高校生以下500円、未就学児の入場はご遠慮ください

チケット取り扱い:サルコヤ・サンリツ 主催・問合せ:石巻市民交響楽団 0229-56-2885(足立)

### ○ソーシャルビジネスフォーラムin石巻 復興に向けて「事業を継続するための環境づくり」を考える○

2月15日(土)アイピアホールにて開催されました。ソーシャルビジネスを石巻で行う方のお話を聞きました。石巻市渡波でダイビングショップ「宮城ダイビングサービスHigh-Bridge(ハイブリッジ)」を営む高橋正祥さんは、プロダイバーの育成等と共に、震災での行方不明者の捜索、水中瓦礫撤去などをされています。

一般社団法人りぶらす代表の橋本大吾さんは、介護保険からの卒業を目標に、石巻市河北で「リハビリ」特化型デイサービス施設を運営しています。地域の交流や健康を考える場にもなっているそうです。

企業や個人の方から寄付された車を使用し、仮設住宅でカーシェアリングを行う、一般社団法人日本カーシェアリング協会代表の吉澤武彦さんは、今後、災害公営住宅でのカーシェアリング(自治会運営)などを実現したいとお話されました。御三方のお話の前に、東北ソーシャルビジネス推進協議会会長の風見正三さんが仰っていた「震災で絆、関係性が深まり、ソーシャルビジネスへと繋がる。志(こころざし)の繋がりが地域を救う。」をまさに形にされていると思いました。



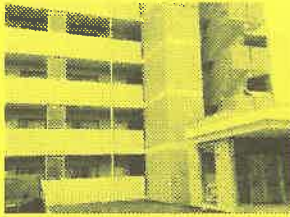
○石巻に恋しちゃった 第4回冬恋(2014.2.8-2.23)○ NPO法人石巻復興支援ネットワーク

通称やっすさんの石恋にスタッフが3つ参加してきたので、それぞれの報告をします

大切な人を守ろう  
～復興公営住宅見学～

2月8日(土)石巻市渡波地区に建設された「沖六勺西復興住宅」を見学しました。

見学したのは1階の1LDK(バリアフリー)と5階の3LDKのお部屋。建てられたばかりという



こともあり、とても綺麗でした。窓からの眺めも良かったです。

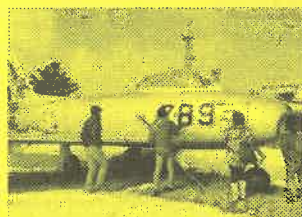
当日は市役所職員の方が2名同行して下さいました。収入によって家賃が違うことや、家賃以外にかかるお金や駐車場のこと、



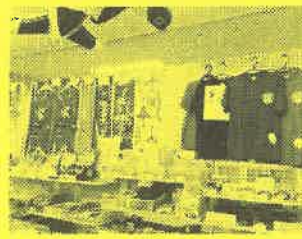
その他にも再建のことなど、参加者の方の質問に丁寧に答えて下さいました。

行ってみよう企画  
航空自衛隊松島基地編

2月17日(月)追加募集の自衛隊基地見学に行ってきました。近くにあるのに一度も行ったことがありませんでした。残念ながら風と寒さが凄かった上に、直前の事故の為、戦闘機は見る



ことができませんでした。震災で被害にあった格納庫や施設の修理をしながら現在の業務にあたっているとのことでした。



売店でおみやげを買えるのも見学の特典です。大曲の市民センターでも少し売っているそうです。

こんにゃくを手作りしよう

2月22日(土)みやぎ生協蛇田店キッチンスタジオで体験させていただきました。そもそも芋がこんなプルプルした食感になるとは、最初に作った人はどういう感想を持ったのでしょうか。



こんにゃく芋はアクが強く、手が荒れるので手袋が必須です。ただ、最終的には素手で混ぜなければならぬのですが、達人は慣れたとおっしゃってました。手づくりは格別でした。



○東屋づくり○

子ども∞感ばにー



2月8日(土)黄金浜ちびっこあそび場で、憩いの場「東屋」づくりが行われました。

当日は小雪が舞う氷点下の屋外でしたが、大人も子どもも頑張りました。事前に何日もかけて組み合わせていた間伐材の丸太ででっかい東屋を作ります。完成したら藤棚のように、花やキュウリやゴーヤを植えるとか。暖かくなるのが楽しみです。



○ともにあゆもうコンサート○

いっぽずつ..  
乳がんになったあなたとともに



2月23日(日)11時から石巻駅前的大もり屋で開催されました。会場には50名程の方々が集まり、歌やピアノ演奏、リコーダーの演奏などが披露されました。

この事業は、赤い羽根「NPOサポート基金」により住民支え合い助成を受けて実施されたもので、石巻赤十字病院が共催しました。



○いのちの森 追悼祈念公園を考える市民の集い ~次世代の子どもたちに明るい未来を~○

NPO法人いしのまき環境ネット、いのちの森をつくる会

3月1日(土)石巻専修大学にて開催されました。

慰霊の場、震災の教訓を後世に伝承する場などとして、震災復興のシンボルとなる公園を整備する計画が進められています。(石巻市震災復興基本計画)

どのような公園が望ましいのか、市民団体「いのちの森をつくる会」のメンバーである御三方の考えをお聞きました。

宮司の齋藤義樹さんは、明治神宮の森づくりなどを例に挙げ、永遠に豊かな森が継続されるよう、植樹などで多くの人に関わり続ける「生きた公園」であるようにとお話されました。

住職の樋口伸生さんは、悲しみを癒し、いのちを学ぶ場所、静寂な森に包まれた「被災地の中の聖地」と呼ばれるような壮大な場所になってほしいとお話されました。

建築家の阿部聡史さんは、建設地区の国土の調査・分析をし、多方面から建設にふさわしい場所だと話し、慰霊碑や情報施設などの建築デザインをイメージされていました。

